

花みずき

発行 医療法人社団

花みずき会保谷厚生病院

発行責任者：鳴海幸恵

2019年7月 創刊号

残暑お見舞い
申し上げます

個人病院開設より29年経ちました。このたび法人となり、新たな体制での運営を始めております。これまでの成果も反省も含めて新たな“かたち”を目指します。“断らない入院”を掲げ、医局内での共有を行いました。在宅診療を病院事業とし、地域医療を実践します。看護部を先頭に療養・環境の改善、リハビリ対策などを進めます。さらに地域の皆様の意見を積極的に受けてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。(院長補佐)

病院運営と職員数(パート含)	
理事長・院長	高原 明
院長補佐	鳴海 幸恵
看護管理部長	二嶋 好枝
事務部長	真船 明雄
医局	66名(常勤8名)
看護部	110名
医療技術部	32名
事務部	37名

第一回 事業目標発表会

6月12日(金)病院は、事業目標の発表会を行いました。職員55名が参加しました。

高原明院長の開会のあいさつに引き続き、医局より玉置克己医師が「エビデンス・ベースド・メディシン」(根拠に基づく医療)の方向を示しました。

真船明雄事務部長は「部門目標5点」を説明し、総務・経理・医事・施設課の目標発表を行いました。医療技術部の最初に薬剤科の部署目標が話され、放射線科、検査科、リハビリ科、ME技術科、栄養科の目標発表が続きました。

看護部は二嶋管理部長より「看護部の運営をみえるかすると・・・」の考えを「理念と看護部の理念目標」を明示し、「4つの視点の目標に」決めました。

そのもとで各部署より「目標を策定」し報告に移りました。

最初に地域連携室の滝沢看護より「地域、連携支援病院」などのケアの充実と連携、増患など新たな役割を提示しました。

2階西病棟、3・4階東病棟、3階西病棟、外来、手術。透析の代表より「顧客・財務・業務プロセス・学習と成長」を責任もって話されました。

最後は、鳴海院長補佐より法人1回目のマネジメントレビューを開催できたこと、新たな出発に立ったことなどの挨拶で終了しました。



ご挨拶

このたび、保谷厚生病院は、令和元年5月1日より、「医療法人社団 花みずき会 保谷厚生病院」として、医療法人の開設をいたしました。平成2年8月1日の開院以来、約29年間、常に地域医療への貢献を心がけてまいりましたが、先般の医療法人の開設を契機として、一層の飛躍と地域に根ざした病院を目指す所存ですので、今後も倍旧のご指導、ご鞭撻をいただきますよう、何卒よろしく願い申し上げます。 高原院長

お詫び

六月院外処方の開始とともに待ち時間が増加していることをお詫びいたします。改善をすすめていきますのでしばらくお待ちください。(事務部長)



左：佐藤薬剤科長 ・ 右事務部長



医療法人社団 花みずき会 保谷厚生病院
〒202-0006 東京都西東京市栄町 1-17-18
TEL: 042-424-6640 FAX: 042-424-6641